

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/08/01		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20220581003044	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー (薬学) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岩田 修永 / Iwata Nobuhisa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	岩田 修永 / Iwata Nobuhisa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	岩田 修永 / Iwata Nobuhisa		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	薬学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	iwata-n nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	薬学部本館2階 ゲノム創薬学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2435		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月~金曜日 13:00-17:00 (メールで要予約)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	薬学科・薬科学科混成グループによる連携学習を行う。長崎における薬学の歴史や医薬品に関するテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び,互いを学び,互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標/Course goals	1) 知的活動への動機づけを高め,大学生として自主的な学習が出来るようになる。DP-1 2) 科学的な思考や立案が出来るようになる。DP-3 3) 学習テーマの課題遂行を通して,問題抽出・解決能力を身につけ,情報収集,ディスカッション,プレゼンテーション,レポートなどが作成できるようになる。DP-2 4) 創薬・育薬に携わる者として必要なコミュニケーションができるようになる。DP-5 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し,リーダーシップ,フォロワーシップを発揮できるようになる。DP-4		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業中の課題に対する積極的な取り組み状況(プレゼン資料作成への取り組み、グループプレゼンテーション時の発表や質問の回数や内容等)(55点)+レポート(45点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。課題内容を正しく理解し、思考方法が論理的であるか、必要な専門用語やキーワードを用いているかで評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習(2h): 図書館やインターネットから事前に情報収集する。プレゼンテーション前には、発表時間内に収まるように発表練習を繰り返す。 事後学習(2h): ディスカッションで疑問になった内容やプレゼンテーションで回答できなかった内容等について、必ず再調査し知識を確認する。		
キーワード/Keywords	生命科学、基礎研究、創薬研究、健康、医療、医薬品、薬学の歴史		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書: 出島のくすり (ISBN4-87378-643-6)、長崎大学薬学部 編、九州大学出版会		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948	
備考 (URL) /Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	長崎大学薬学部の歴史や下村 脩博士の研究業績について理解を深め、グループ学習や先輩とのディスカッションを通してコミュニケーション力、プレゼンテーション能力を養成しましょう。大学での学習習慣や活動の基礎をこの演習で身に付けてください。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	岩田修永：博士研究員として国立研究開発法人理化学研究所、厚労省国立医薬品食品衛生研究所及び米国立衛生研究所(NIH)にて生化学・分子生物学分野の基礎研究を行なった。 生化学・分子生物学の基本的な知識と基礎・創薬研究への応用や解析技術を養う。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回 (4/11)	講演(薬学部の歴史)、グループ別討議(自己紹介など) [新入生研修会の振替として休講 (1)]	A B
第2回 (4/18)	オンディマンド学習：資料収集ガイダンス(中央図書館)	C D
第3回 (4/25)	中グループ：資料収集ガイダンス：Zoomの使い方、プレゼン資料の作り方、レポートの書き方	C D
第4回 (5/9)	小グループ：課題提示(出島)、ディスカッション(ペア学習)	B D
第5回 (5/16)	小グループ：課題(出島)プレゼンテーション準備	B D
第6回 (5/23)	フィールドワーク(分析窮理所跡地・小島養生所+出島) [新入生研修会の振替として休講 (2)]	A
第7回 (5/30)	小グループ：課題提示(窮理所)、ディスカッション(ペア学習)	B D
第8回 (6/6)	小グループ：課題(窮理所)プレゼンテーション準備	B D
第9回 (6/13)	中グループ：発表会(事前打ち合わせ含む)	B D
第10回 (6/20)	中グループ：下村 脩博士の講演を視聴(Youtube)、資料館見学、レポート作成	A
第11回 (6/27)	小グループ：課題提示(基礎研究の重要性を考える)、ディスカッション(ペア学習)	B D
第12回 (7/4)	課題(基礎研究の重要性を考える)プレゼンテーション準備	B D
第13回 (7/11)	中グループ：発表会	B D
第14回 (7/25)	中グループ：メンターの研究を理解する。レポート作成(メンターの研究について)	F
第15回 (8/1)	薬学における研究の重要性について考える。総括・レポート作成	B

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20220581003045	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(薬学) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	川上 茂 / Kawakami Shigeru		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	川上 茂 / Kawakami Shigeru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	川上 茂 / Kawakami Shigeru		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	薬学部1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	skawakam nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	医薬品情報学分野		
担当教員TEL / Tel	095-819-8563		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月~金 13:00~17:00(事前にメールで予約をすること)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	薬学科・薬科学科混成グループによる連携学習を行う。長崎における薬学の歴史や医薬品に関するテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び,互いを学び,互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 知的活動への動機づけを高め,大学生として自主的な学習が出来るようになる。DP-1</li> <li>2) 科学的な思考や立案が出来るようになる。DP-3</li> <li>3) 学習テーマの課題遂行を通して,問題抽出・解決能力を身につけ,情報収集,ディスカッション,プレゼンテーション,レポートなどが作成できるようになる。DP-2</li> <li>4) 創薬・育薬に携わる者として必要なコミュニケーションができるようになる。DP-5</li> <li>5) ものの見方や考え方の多様性を理解し,リーダーシップ,フォロワーシップを発揮できるようになる。DP-4</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	レポート(40%)、プレゼンテーション(40%)、取組姿勢(20%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習: シラバスを参考にインターネットなどで情報収集(2h) 事後学習: 授業内容をインターネットなどで復習(2h)		
キーワード / Keywords	生命, 健康, 医療, 医薬品, 歴史		
教科書・教材・参考書 / Materials	長大生のためのラーニングチップス(第5版) <a href="http://nap.innov.nagasaki-u.ac.jp/Tips/ltips2021/html5.html#page=1">http://nap.innov.nagasaki-u.ac.jp/Tips/ltips2021/html5.html#page=1</a> 長崎薬学史の研究 <a href="http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/history/research/index.html">http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/history/research/index.html</a>		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	なし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	小グループ（川上班）、中グループ（川上班・岸川班）内で友人を作って下さい。 長大生のためのラーニングチップス（第5版）、長崎薬学史の研究を事前・事後学修に活用してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4/9 (土) (新入生研修)	史跡見学1 (4/9 (土) の新入生研修の際に見学を実施する。4/12は休み。)
第2回 4/19	図書館ガイダンス
第3回 4/26	自己紹介、大学での学び方、ラーニングチップスの学修
第4回 4/9 (土) (新入生研修)	史跡見学2 (4/9 (土) の新入生研修の際に見学を実施する。5/10は休み。)
第5回 5/17	史跡見学 1, 2 のプレゼンテーション作成、レポート作成
第6回 5/24	史跡見学 1, 2 のプレゼンテーション実施とレポート提出
第7回 5/31	岸川班と合同で坂本地区の史跡見学3 (良順会館、グピロが丘防空壕跡地、薬専の正門等) を行う、自己紹介
第8回 6/7	坂本市区の史跡見学3のプレゼンテーション作成とレポート作成 (フィールドワーク)
第9回 6/14	岸川班と合同で坂本地区の史跡見学3のプレゼンテーション実施とレポート提出
第10回 6/21	下村先生の講演視聴 (youtube) と業績調査
第11回 6/28	下村脩名誉博士顕彰記念館、お薬の歴史資料館の見学 (文教キャンパス)
第12回 7/5	下村先生の業績のプレゼンテーション作成とレポート作成
第13回 7/12	下村先生の業績のプレゼンテーション実施とレポート提出
第14回 7/19	勉強と研究の違いについて調べる、川上教授・岸川准教授の研究紹介
第15回 7/26	研究室見学 (医薬品情報学分野)、川上教授・岸川准教授の研究内容のレポート作成

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/08/01		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20220581003046	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー (薬学) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	齋藤 義紀 / Saito Yoshinori		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	齋藤 義紀 / Saito Yoshinori		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	齋藤 義紀 / Saito Yoshinori		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	薬学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	saiyoshi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	薬学部本館3階 天然物化学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2433		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月~金曜日 13:00-17:00 (メールで要予約)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	薬学科・薬科学科混成グループによる連携学習を行う。長崎における薬学の歴史や医薬品に関するテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び,互いを学び,互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標/Course goals	1) 知的活動への動機づけを高め,大学生として自主的な学習が出来るようになる。DP-1 2) 科学的な思考や立案が出来るようになる。DP-3 3) 学習テーマの課題遂行を通して,問題抽出・解決能力を身につけ,情報収集,ディスカッション,プレゼンテーション,レポートなどが作成できるようになる。DP-2 4) 創薬・育薬に携わる者として必要なコミュニケーションができるようになる。DP-5 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し,リーダーシップ,フォロワーシップを発揮できるようになる。DP-4		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業に対する積極的な取り組み状況(出席, プレゼンの資料作成ならびに発表への貢献, グループプレゼンテーションにおける質問の回数や内容等)(60点)+レポート(40点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。課題内容を正しく理解し,論理的思考ができているか,必要な情報を的確に収集・提示できているか,等を評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習(2h): 図書館やインターネットから事前に情報収集する。プレゼンテーション前には,発表時間内に収まるように練習を繰り返す。 事後学習(2h): ディスカッションで疑問になった内容やプレゼンテーションで回答できなかった内容等について改めて調査し,回答できるようにする。		
キーワード/Keywords	生命,健康,医療,医薬品,歴史		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書: 出島のくすり (ISBN4-87378-643-6), 長崎大学薬学部 編, 九州大学出版会		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	近代薬学のあゆみ、長崎大学薬学部の歴史、下村脩博士の研究業績等について理解を深めるとともに、能動的学修（自主的学習）への転換を進める契機としましょう。また、グループ学習を通してコミュニケーション力、プレゼンテーション能力、論理的思考力等を養いましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	講演（薬学部の歴史）、グループ別討議（自己紹介など） [新入生研修会の振替として休講（1）]
第2回	資料収集ガイダンス（中央図書館）
第3回	中グループ：Zoomの使い方、プレゼン資料の作り方、レポートの書き方
第4回	小グループ：課題提示（出島）、ディスカッション（ペア学習）
第5回	小グループ：プレゼン資料作り（出島）
第6回	フィールドワーク（分析窮理所跡地・小島養生所、出島） [新入生研修会の振替として休講（2）]
第7回	小グループ：課題提示（窮理所）、ディスカッション（ペア学習）
第8回	小グループ：プレゼン資料作り（窮理所）
第9回	中グループ：発表会（事前打ち合わせ含む）
第10回	中グループ：下村脩博士の講演を視聴（Youtube）、資料館見学、レポート作成
第11回	小グループ：課題提示（基礎研究の重要性を考える）、ディスカッション（ペア学習）
第12回	小グループ：プレゼン資料作り（基礎研究の重要性を考える）
第13回	中グループ：発表会
第14回	中グループ：メンターの研究を理解する。レポート作成（メンターの研究について）
第15回	薬学における研究の重要性について考える。統括・レポート作成

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20220581003047	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(薬学) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岸川 直哉 / Kishikawa Naoya		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	岸川 直哉 / Kishikawa Naoya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	岸川 直哉 / Kishikawa Naoya		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	薬学部1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kishika nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	薬品分析化学研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2445		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月~金 10:00~17:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	薬学科・薬科学科混成グループによる連携学習を行う。長崎における薬学の歴史や医薬品に関するテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び,互いを学び,互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 知的活動への動機づけを高め,大学生として自主的な学習が出来るようになる。DP-1</li> <li>2) 科学的な思考や立案が出来るようになる。DP-3</li> <li>3) 学習テーマの課題遂行を通して,問題抽出・解決能力を身につけ,情報収集,ディスカッション,プレゼンテーション,レポートなどが作成できるようになる。DP-2</li> <li>4) 創薬・育薬に携わる者として必要なコミュニケーションができるようになる。DP-5</li> <li>5) ものの見方や考え方の多様性を理解し,リーダーシップ,フォロワーシップを発揮できるようになる。DP-4</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	レポート(40%)、プレゼンテーション(40%)、取組姿勢(20%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習: シラバスを参考にインターネットなどで情報収集(2h) 事後学習: 授業内容をインターネットなどで復習(2h)		
キーワード / Keywords	生命, 健康, 医療, 医薬品, 歴史		
教科書・教材・参考書 / Materials	長大生のためのラーニングチップス(第5版) <a href="http://nap.innov.nagasaki-u.ac.jp/Tips/ltips2021/html5.html#page=1">http://nap.innov.nagasaki-u.ac.jp/Tips/ltips2021/html5.html#page=1</a> 長崎薬学史の研究 <a href="http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/history/research/index.html">http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/history/research/index.html</a>		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	なし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	小グループ（岸川班）、中グループ（川上班・岸川班）内で友人を作ってください。 長大生のためのラーニングチップス（第5版）、長崎薬学史の研究を事前・事後学修に活用してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4/9 (土) (新入生研修)	史跡見学1, 2 (4/9 (土) に実施する新入生研修の際に見学を実施する。)
第2回 4/19 (火)	自己紹介、大学での学びに関する意見交換
第3回 4/26 (火)	図書館資料収集ガイダンス
第4回 5/10 (火)	史跡見学1, 2のレポート作成・発表
第5回 5/17 (火)	フィールドワーク（現在の長崎）のための調査研究
第6回 5/24 (火)	フィールドワークの実施
第7回 5/31 (火)	川上班と合同で坂本地区の史跡見学3（良順会館、グピロが丘防空壕跡地、薬専の正門等）を行う、自己紹介
第8回 6/7 (火)	坂本市区の史跡見学3のプレゼンテーションとレポート作成（フィールドワーク）
第9回 6/14 (火)	川上班と合同で坂本地区の史跡見学3のプレゼンテーションとレポート提出
第10回 6/21 (火)	フィールドワーク（現在の長崎）のプレゼンテーション
第11回	4/9 (土) (第1回、新入生研修) 史跡見学2の振替
第12回 7/5 (火)	スモールグループディスカッション（科学的な最新トピックス調査）
第13回 7/12 (火)	科学的な最新トピックスに関するプレゼンテーション
第14回 7/19 (火)	勉強と研究の違いについて調べる、川上教授・岸川准教授の研究紹介
第15回 7/26 (火)	研究室見学（薬品分析化学分野） 川上教授・岸川准教授の研究内容のレポート作成

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20220581003048	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(薬学) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	谷村 進 / Tanimura Susumu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	谷村 進 / Tanimura Susumu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	谷村 進 / Tanimura Susumu		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	薬学部1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	tani1211 nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	薬学部4階 細胞制御学研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2419		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月~金 9:00-17:00(メールで要予約)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	薬学科・薬科学科混成グループによる連携学習を行う。長崎における薬学の歴史や医薬品に関するテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び,互いを学び,互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標 / Course goals	1) 知的活動への動機づけを高め,大学生として自主的な学習が出来るようになる。DP-1 2) 科学的な思考や立案が出来るようになる。DP-3 3) 学習テーマの課題遂行を通して,問題抽出・解決能力を身につけ,情報収集,ディスカッション,プレゼンテーション,レポートなどが作成できるようになる。DP-2 4) 創薬・育薬に携わる者として必要なコミュニケーションができるようになる。DP-5 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し,リーダーシップ,フォロワーシップを発揮できるようになる。DP-4		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業中の課題に対する積極的な取り組み状況(発表資料作成への取り組み(45%)、プレゼンテーション時の発表や質問の内容(45%)、レポートの内容(10%))によって評価する		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習: 配布資料がある場合にはその内容を確認しておいてください。各回のテーマについて自分なりに調べておいてください。必要がある場合にはグループ討論やプレゼンテーションに向けて準備をしてください。(0.5 h) 事後学習: グループ討論やプレゼンテーションで学んだことを復習してください。(0.5 h)		
キーワード / Keywords	生命, 健康, 医療, 医薬品, 歴史		
教科書・教材・参考書 / Materials			
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	史跡見学 1 (出島: 4月9日に実施する新入生研修の際に見学する)
第2回	史跡見学 2 (分析窮理所: 4月9日に実施する新入生研修の際に見学する)
第3回 (4月12日)	Zoomの使い方、プレゼンテーション資料の作り方、レポートの書き方
第4回 (4月19日)	グループ学習 (史跡見学 1 : 出島について)
第5回 (4月26日)	プレゼンテーション資料作成 (史跡見学 1 : 出島について)
第6回 (5月10日)	グループ学習 (史跡見学 2 : 分析窮理所について)
第7回 (5月17日)	プレゼンテーション資料作成 (史跡見学 2 : 分析窮理所について)
第8回 (5月24日)	プレゼンテーションと意見交換 (小グループ) (史跡見学 1・2)
第9回 (5月31日)	図書館資料収集ガイダンス
第10回 (6月7日)	下村脩名誉博士顕彰記念館・お薬の歴史資料館の見学
第11回 (6月14日)	グループ学習 (課題: 基礎研究の重要性を考える)
第12回 (6月21日)	プレゼンテーション資料作成 (課題: 基礎研究の重要性を考える)
第13回 (6月28日)	プレゼンテーションと意見交換 (小グループ) (課題: 基礎研究の重要性を考える)
第14回 (7月12日)	プレゼンテーションと意見交換 (中グループ) (課題: 基礎研究の重要性を考える)
第15回 (7月19日)	薬学における研究の重要性について考える (中グループ) (メンター教員の研究を理解する)

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20220581003049	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(薬学) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	平山 達朗 / Hirayama Tatsuro		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	平山 達朗 / Hirayama Tatsuro		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	平山 達朗 / Hirayama Tatsuro		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	薬学科(必修)・薬科学科(選択必修)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	tatsuro_h_20 nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は、 を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	医歯薬学総合研究棟7F・薬物治療学准教授室		
担当教員TEL / Tel	095-819-8574		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月-金 9:00-17:00 (事前にEメールで連絡すること)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	薬学科・薬科学科混成グループによる連携学習を行う。長崎における薬学の歴史や医薬品に関するテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標 / Course goals	1) 知的活動への動機づけを高め、大学生として自主的な学習が出来るようになる。DP-1 2) 科学的な思考や立案が出来るようになる。DP-3 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力を身につけ、情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどが作成できるようになる。DP-2 4) 創薬・育薬に携わる者として必要なコミュニケーションができるようになる。DP-5 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できるようになる。DP-4		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	成績評価: 個人評価として各回での取り組み方・討議への積極的参加4点×15回, グループ評価としてプレゼンテーション10点×2回と最終報告書のレポート20点の合計点が60点以上を合格とする。授業到達目標(1-5)ができるようになったかどうかは上記評価項目で評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前と事後にそれぞれ2時間以上, 課題, 報告, 発表やレポート提出に向けて準備すること。		
キーワード / Keywords	生命, 健康, 医療, 医薬品, 歴史		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書なし		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	史跡見学1（出島：4月9日に実施する新入生研修の際に見学する）
第2回	図書館資料収集ガイダンス
第3回	自己紹介、大学での学び方、ラーニングチップスの学修
第4回	史跡見学2（分析窮理所：4月9日に実施する新入生研修の際に見学する）
第5回	ブレインストーミング・KJ法の実践
第6回	出島、分析窮理所についてグループ学習を行う
第7回	出島、分析窮理所について調査する
第8回	出島、分析窮理所についてプレゼンテーション資料、レポート作成
第9回	出島、分析窮理所についてプレゼンテーションと意見交換（小グループ）
第10回	グループ学習（課題：基礎研究の重要性を考える）
第11回	基礎研究の重要性について調査する
第12回	プレゼンテーション資料、レポート作成（課題：基礎研究の重要性を考える）
第13回	プレゼンテーションと意見交換（小グループ）（課題：基礎研究の重要性を考える）
第14回	プレゼンテーションと意見交換（中グループ）（課題：基礎研究の重要性を考える）
第15回	薬学における研究の重要性について考える（中グループ） メンター教員の研究を理解する（レポート課題：メンターの研究について）